

自分らしい生き方、応援します！

ソーレ・スコープ

第87号
2019.JAN



イラスト：ヒビノケイコさん（4コママンガエッセイスト）

DV防止啓発講演会

男性の非暴力宣言

～男性の立場から取り組むDVのない社会づくり～

特集 声を上げ、未来を切り開いてきた女性たち
暮らしにひとさじエッセンス「指先に魔法をかけて」

詳しくは 高知 ソーレ
HP <http://www.sole-kochi.or.jp>



HP



Face Book

平成30年度DV防止啓発講演会



男性の非暴力宣言

～男性の立場から取り組むDVのない社会づくり～

男性が主体となって女性への暴力撲滅に取り組む世界的な啓発運動であるホワイトリボンキャンペーン。日本でもホワイトリボンキャンペーン・ジャパンが2016年に設立され、身近な女性に対して常に対等な態度で接し、決して暴力を振るわない、暴力に沈黙しない男性という意味のフェアメンを全国に増やそうと活動しています。ここでは、その共同代表である多賀太さんの講演の一部をご紹介します。

男性にとってのDV問題

婚姻関係にある配偶者間の暴力。男性は女性に比べてこの問題により関心がない傾向にあります。それは、ほとんどの男性がDV被害に遭うとは思っていないからです。また、自分は加害者でも被害者でもない、どこか他人事のような気がすると多くの男性が思っています。

しかも、DVは男性から女性へ向かうことが圧倒的に多く、男性としては自分が暴力を振るっていないのに加害者の側に立たされ、責められているような気分になり、聞きたくないと感じている方が多いのではないのでしょうか。私も、以前はそう思っていました。

私に考え直すきっかけを与えてくれたのは、ホワイトリボンキャンペーンの創始者の一人、マイケル・カウフマンというカナダの男性でした。彼に「DVの話は自分が加害者じゃないのに責められているみたいに聞こえてどうも納得がいかない」と話したら、彼はこのように言いました。「女性に暴力を振るわない男性が、暴力を振るう男性の代わりに罪悪感を覚える必要はない」。まずこの言葉を聞いて、私は救われた気がしました。そして「女性に対する暴力をなくすために、何かできるのに何もしていないとすれば、一度自分に問い直してほしい。できることから始めようではないか」と言われ、自分も男性の立場からDV問題を学んでみようと思い、2012年頃から私はホワイトリボンキャンペーンの活動にかかわっています。

男性がDV防止に向けてやれることは、大きく三つづ

らのステップがあると思っています。1番目は、DV問題を他人事ではなく自分自身にかかわる問題であると認識すること。2番目に、DV問題の実態を知ること。3番目に、その解決に向けて自分は何ができるのか、一つでも二つでもできることを見つけることだと思っています。

DVの実態と背景

DVと聞くと、殴るとか蹴るとか、そういうイメージだと思いますが、身体的なものではありません。完全に一方が他方に支配される関係の中では、ちょっと舌打ちされるだけで震え上がるように感じることもあります。夫婦として暮らしていたり、あるいは恋人として交際をしていてもいつも相手のことが気になって全然楽しくないとか、話し合いではなくいつも一方が決めて、どうせ意見を言っても聞いてもらえないから合わせてしまっているとか、常に顔色をうかがうのは、DVのグレーゾーンだと思います。

様々な暴力を用いて一方が他方を支配しコントロールすることが、DVの一番本質的な問題なのです。暴力を繰り返すことで被害者は「私という意識」を喪失し、安全であるためには相手の言うことを聞くしかないとして学習し、逃げられなくなってしまうのです。

DVの背景には広い意味での力の不均衡があります。この場合の力というのは、身体的な力や経済力、社会的威信などのことです。男尊女卑的な考え方が社会で支配



2018年11月4日(日) 13:30~15:30

講師 多賀 太 氏

(関西大学文学部教授・一般社団法人ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン共同代表)



的だと、男性であるというだけですでに威信があり、女性であるというだけで軽く見られるということもあります。職業や地域でのポジションも力の背景になることがあります。

今の日本社会は、男性にいろいろな力が多く配分されがちです。教育の場は、ほかに比べるとかなり男女平等ですが、就職したり結婚したり、伝統的な地域の中に入ると、途端に男性にいろいろな力が付与されて、女性から力がそがれていくということはまだまだあります。これが被害者の多数を女性が占める理由ではないかと思われま

す。逆に、女性でも力を多く持っていれば相手を支配し得るわけです。私たちの社会では、男は強くあるべしという固定観念がある。その中で妻なり恋人の女性から暴力を受けている男性は、それ自体を認めたくないとか、誰かに相談しても信じてもらえるだろうか、逆に男のくせに情けないと言われるのではないかと、相談してかえって傷ついたなどという男性の話も、私は聞いたことがあります。固定的な男らしさ像が加害者も生み出し、被害者も苦しめているという両方の問題を引き起こしているような気がします。

力の不均衡があったら必ずDVになるわけではないのですが、ほとんどの男性が女性より多く稼いでいるなど不均衡が起りやすい状況を社会全体で改善していくことが重要です。同時に、もし力が不均衡なカップルになったとしたら、力を多く持っているほうが支配するような関係にならないように、気をつける必要があるということです。

DV防止に向けて男性に何ができるのか

まず1番目に、何がDVに当たるか、そして被害者にどう対応したらいいのかということを知り、家や職場で友人たちにぜひ広めてください。これだけでもDV防止に対してアクションを起こす第一歩になります。

2番目は、自分が決して暴力を振るわないことです。男性が暴力を振るわずに生活をする

ことで、い世代の男性たちに対して、暴力を振るわない肯定的な男性のモデルを自ら示すことができるのです。暴力的な男らしさしかイメージできなくて、そうでなければ男らしくないというような固定観念にとらわれている子どもたちはまだまだいます。

3番目は、被害者を守り支援することです。被害者は対応した人の言葉でさらに傷つけられる、二次被害を受けることもあります。被害者を守るために身の危険を冒して暴力の場面に割って入っていくのではなく、まずはこの二次被害の防止に努めるということだけでも被害者を守ることに繋がります。そして、相談機関や通報先を知って、何かあればそういう機関につないでいくというも被害者を守り支援することにつながります。

4番目に、被害者支援や予防の基盤づくりに貢献することです。暴力に遭ったことのある女性は、男性を怖がることもあるので、男性が直接被害者を支援することはなかなかできない場合もあります。そういう場合は、直接の被害者支援は女性の団体に任せておいて、そういう団体の運営を資金の面で支えたりとか、あるいは直接支援をされている女性たちを応援することでも効果があります。また、今の社会では、男性が職場や地域で、発言力や影響力のある地位に就いていることが多いので、その男性たちのDV問題を社会全体でなくしてこうとアクションを起こし声をあげる行動が、DV問題の解決の度合いを左右すると思います。

最後に、私からおすすめしたいことは、暴力を振るわない、許さない、沈黙しない、そして相手を対等な立場で尊重する、フェアメンになろうということです。言うだけは簡単で、日々行うのは難しいですけれども、男性はもちろん全ての人がこうなれば暴力とかハラスメントはなくなるはずですが、私もこうやってお話しさせていただいている以上、日常生活でも気をつけてまいりたいと思いますので、ぜひ皆さんも今日から、フェアメンとしてできることを一緒にしていただければというふうに思います。

声を上げ 未来を切り開いてきた 女性たち

3月8日は国際女性デー

1908年3月8日、アメリカで女性たちが賃金の値上げなどを求めストライキを行ったことから、毎年3月8日を「国際女性デー」とすることが定められました。ヨーロッパでも、女性たちが参政権を求め声を上げました。日本では、高知県の楠瀬喜多の訴えにより、男性に限定されていた参政権が女性の戸主にも認められ、女性参政権の第一歩となりました。このように、今日私たちにある当たり前と思える権利も先人たちの行動の結果といえるものが多くあります。

それでもまだ現代社会には、女性の人権を侵害する暴力や差別が根強く残されています。

1908年	3月8日、ニューヨークで女性労働者が賃上げや参政権を求めストライキ
1910年	国際会議で、女性の権利向上や参政権を求める「女性デー」の制定を提唱
1914年	ヨーロッパで3月8日ごろに女性たちが戦争反対集会
1917年	ロシアで女性たちがストライキ、皇帝が退位し暫定政府は女性に参政権を付与
1945年	国連憲章採択。男女平等の原則を確認する初めての国際的な合意
1975年	国連が3月8日を「国際女性デー」と定める
1995年	国連の世界女性会議で、女性の権利を守り、ジェンダー平等の推進をめざす「北京宣言および行動綱領」を採択
2016年	2030年末までの達成に向け国際社会で取り組む「持続可能な開発目標（SDGs）」がスタート。「ジェンダー平等」は17項目のひとつ

(出典「女性情報」2017.4 (有)パド・ウィメンズ・オフィス発行)

女性活躍推進の前に…

最近の社会に目を向けると、さまざまなメディアで女性の人権問題がニュースとして取り上げられています。アメリカでは、映画俳優へのセクハラに端を発した抗議運動#MeToo（私も被害者）が高まり、その他の国々でも大きなうねりとなっています。2018年のノーベル平和賞を受賞したイラク少数民族派ヤジディ教徒ナディア・ムラド・バセー・タハさんは、性暴力に苦しむ女性たちの声を伝える活動をしてきました。日本でも、セクハラ被害を訴えた記者、性被害を实名で公表したジャーナリストの勇気ある行動がありました。

ハラスメントや性被害が繰り返され起りその被害者の多くが女性である要因には、時代が変化してもなお、日々の生活の中で知らず知らず刷り込まれる「女性蔑視」が根本にあると思います。

誰もが生きやすい社会にするために、不合理には疑問を呈して、声に出していくことが重要です。



お知らせ

平成31年3月8日(金)に、
国際女性デー映画上映会を開催します。
詳細は裏表紙をご覧ください。



婦人参政権・楠瀬喜多って？ 天保7年～大正9年(1836年～1920年)

「女権ばあさん」の名で知られている楠瀬喜多は「女にも参政権を！」と訴えた最初の日本人女性として有名です。夫が亡くなった後、喜多が家督を継いだ当時は、江戸から明治に変わったものの庶民の暮らしはよくなり、自由民権運動が高まっていました。

喜多は、県令(知事)に何書「納税ノ儀ニ付御指令願ノ事」を出し、この中で「戸主として納税しているのに女であるというだけで選挙権がない」ことの理由を正し、男女平等と婦人参政権を主張しました。喜多のこの主張を経て、明治13年(1880年)、日本で最初の婦人参政権が上街と小高坂村で実現しました。現在、上町にある第四小学校正門脇に「婦人参政権発祥の地」の碑があります。





リベンジポルノ相談件数

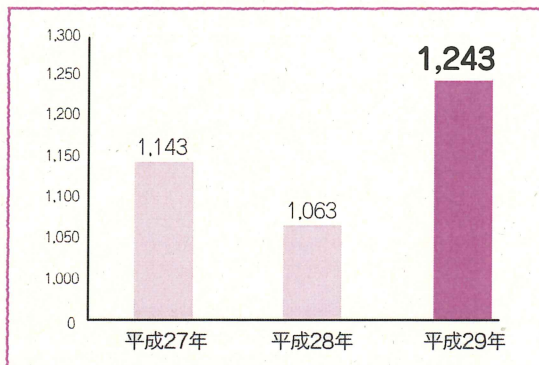
1,243件

出典：警察庁HP 統計データより

リベンジポルノとは…

元配偶者や元交際相手が、相手から拒否されたことの仕返しに親密であったときに自ら撮影したり、相手からもらうなどして所持していた性的な画像や動画を本人の同意なく、インターネットなどで不特定多数に公開・拡散する行為で、悪質な犯罪です。

相談等件数



リベンジポルノ相談等件数調査では、上のグラフでわかるように平成29年は1,243件で調査開始から最も高い数字になっています。平成25年10月に起きた三鷹ストーカー殺人事件を機にリベンジポルノに対する関心が高まり、平成26年11月に「私事性的画像記録の提供等による被害の防止に関する法律」通称リベンジポルノ防止法が成立・施行されました。法律施行後1か月間の相談件数は110件で、翌年の平成27年から平成29年までは、1,000件を超える相談がよせられています。法律が制定されたことは、同意のない画像のばらまき等が犯罪であるという認識を周知することにつながっています。

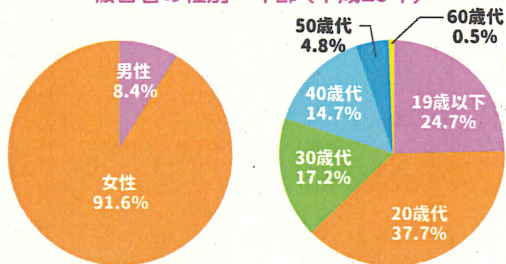
この数字は氷山の一角にすぎません。実際には、この何倍もの被害者がいることが推測されます。

● 若者たちに広がるリベンジポルノ

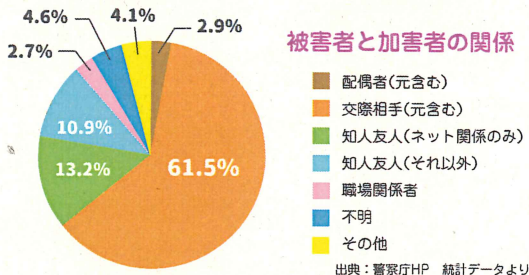
被害者の性別では、圧倒的に女性が多く、年齢では、19歳以下・20代を中心としたスマホを手放せない世代が過半数を占めています。被害者と加害者の関係では、交際相手(元含む)が最も多く、それに次いで知人、友人となっています。

リベンジポルノが生まれる背景には、LINE、Twitter、Facebookやインスタグラム等のSNSの普及やコミュニティサイトの利用などがあり、知らないうちに被害にあってしまうということがいつ誰に起きてもおかしくない状況になっています。

被害者の性別・年齢(平成29年)



被害者と加害者の関係



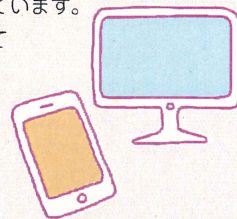
出典：警察庁HP 統計データより

● 被害を防ぐためには

次のようなデジタル画像やネットの特性を知っておくことが大切です。

- 投稿が容易にできる
- 拡散できる
- ネット上では、身元を偽ることが容易にできる
- 一度公開された画像は完全に削除することが困難である

スマホなどのモバイル端末が広がってきた現在においては、写真や動画を撮ることは、日常生活の一部になっています。撮る・撮らせることは信頼関係の中でやっている当事者同士のことであり、この行為自体を無くすことは難しいのかもしれませんが、ただ、リベンジポルノにつながる恐れがあることを認識しておくことが大切です。



高知県内には、次のような相談場所があります

- (性暴力被害者専用相談電話)CORAL CALL ☎080-9833-3500
- 女性の人権ホットライン ☎0570-070-810
- (高知地方法務局) ☎088-822-6526
- 高知県女性相談支援センター(配偶者暴力相談支援センター) ☎088-833-0783
- レディースダイヤル110番 ☎088-873-0110
- 受付時間 月曜～土曜 10:00～16:00 ※日・祝日・年末年始はお休みです。
- こうち男女共同参画センター「ソーレ」 ☎088-873-9555
- 高知県女性相談支援センター(配偶者暴力相談支援センター) ☎088-873-9555
- よりそいホットライン ☎0120-279-338
- 受付時間 月曜～金曜 9:00～22:00 土日・祝日 9:00～20:00 ※年末年始はお休みです。
- 高知県思春期相談センター「PRINK」 ☎088-873-0022
- (24時間 通話料無料 携帯電話(PHS)、公衆電話からもつながります。)
- 高知県警察本部(県民支援相談課) ☎088-823-9110



ソーレ図書・情報資料室から

おすすめ 図書紹介

ソーレの図書室には、図書を約12,600冊、ビデオ・DVDは約960本所蔵しています。

ご自身を証明するものをお持ちいただければ、貸出カードを作ってください。ソーレの図書室の本やビデオ・DVDを是非ご利用ください。(ビデオ・DVDは図書室でもご覧いただけます)

利用時間 火曜～金曜 9:00～20:00
土・日・月 9:00～17:00

休館日 第2水曜・祝日・年末年始

貸出期間 (図書) 5冊まで2週間
(DVD) 2本まで1週間 ※高知市外在住の方は2週間



13歳、「私」をなくした私 性暴力と生きることのリアル

山本 潤 著
朝日新聞出版 2017年2月発行

性暴力を受けていた著者が中学生当時から現在までの苦悩やトラウマ症状、周りの人たちとの軋轢など性暴力が一人の女性にどのような影響を残すのかについて率直に書かれた記録です。

著者の講演会を2月3日(日)に高知会館で開催します。詳細は裏表紙をご覧ください。



「ほとんどない」ことに されている側から見た 社会の話を。

小川 たまか 著
タパブックス 2018年7月発行

性暴力被害、痴漢犯罪、年齢差別、ジェンダー格差、女性蔑視CM、#MeToo運動などを取材し、主にウェブで発信してきたライターのはじめての著作です。

一編は短く読みやすいのですが、内容は考えさせられることが多いおすすめの一冊です。



総務部長は トランスジェンダー

岡部 鈴 著
文藝春秋 2018年6月発行

総務部長は社員に向けて一斉メールでカミングアウトした。男であることに疑問を持たずに生きてきた妻子持ちのサラリーマンが、女性になりたい自分に気づく。一人のトランスジェンダーの体験記。究極の二重生活とは？自分らしく生きたい人に勇気を与える告白的ノンフィクションです。



発明家になった 女の子マッティ

エミリー・アーノルド・マッカーリー 作
宮坂宏美 訳
光村教育図書
2018年6月発行

幼い頃から、人の役に立つものを発明するのが大好きだったマッティ。2年かけて新しい製紙機を発明し、特許を申請したところ、アイデアが盗まれていたとわかり…。

19世紀末のアメリカで活躍した女性発明家のマーガレット・E・ナイトの伝記絵本。

貸館のご案内

ソーレには、「どなたでも」「1時間単位」で借りられる貸室があります。

●多彩な貸室

少人数で利用できる研修室をはじめ、300人まで収容できる大会議室の他、茶道具を備えた和室や調理実習室など、目的に合わせてお選びいただけます。

●低料金

研修室(定員30名)なら、平日1時間420円。土日利用でも510円。しかも夜間も同料金(営利団体や営利を目的とする利用の場合は、2倍になります)。また、冷暖房やプロジェクターなどの備品は、全て無料。

●便利

目の前を路線バス・路面電車が通り、JR旭駅からすぐ近くの便利な場所にあります。

簡単な利用登録をすれば、予約は電話でOK。ぜひお気軽にお問い合わせください。



大会議室



和室



レクリエーション室



指先に魔法をかけて

今回は、nail magie店主の松田さんに
ネイリストの仕事についてお聞きしました。



この人に聞きました

「nail magie」

松田 さやかさん

HP <https://ameblo.jp/nailmagie/>

住宅街の一角に看板もなく、一見ネイルサロンのようには見えない建物があります。隠れ家のようなお店です。フランス語で「魔法」という意味もある、店名の「マージェ (magie)」は、ことばの持つ響きや、語感が好きで名付けたそうです。

松田さんがネイリストを目指したきっかけは、「手に職をつけたい！」という思いからでした。結婚後、会社勤めをしながらネイルスクールに通い、東京・六本木のネイルサロンで働きながら技術を磨いたそうです。

その後、高知へ引っ越してきて、子どもが2歳になったのを機に、自宅の一室を使ってネイリストの活動を再開しました。開店までの準備は、あらゆることを自分で一から考え、選択、決定していかなければ前に進むことができないので、不安を抱えながらも、手探りでクリアしていく感じでした。会社やサロンで勤務していた時は、相談しながら進めていけましたが、今は自分が頼りです。

クチコミやブログをはじめとしたSNSを中心にデザインサンプルや実際のお客様のネイル紹介をしており、完全予約制でゆっくりと過ごしていただいています。

開店6年目を迎える、現在のモットーは、「気負わず、目標にとらわれず、シンプルに考えること」だそうです。日々、技術向上・デザイン等の勉強のため、県内外のセミナーなどにも参加し、スキルアップを目指しています。

ネイリストとしてのこだわり

主にジェルネイルをメニューの中心にしている松田さんは、『仕上がり、持ちの良さ』を重視しているということです。そのことがお客様の満足につながり、結果、嬉しいコメントを頂いたときが一番こだわっていて良かったと思える瞬間だそうです。

デザインはカウンセリングをして、仕事やイベントなど状況にあわせて提案をします。デザインの好みは千差万別ですが、その方の雰囲気にあっていて、心地よく感じられることがポイントです。



仕事と家族

家族の理解や応援を得て仕事を続けられています。ネイリストとして自分の世界を持ち、真摯に取り組んでいる姿は、家族にとっても元気を与える存在になっているようです。

仕事は、自分の自己表現の場であり、お店は癒される、居心地の良いところだそうです。「何より、この仕事が好きであるという気持ちを大切にしています。」と笑顔で話される様子が印象的でした。

ワンポイント・アドバイス

冬は、寒さや乾燥で手荒れが気になる季節です。そんなときは、寝る前などに、ハンドクリーム(おすすめは尿素入り)を塗って、手袋(綿製)をします。水仕事などでこまめにケアできないことが多い方も忘れず続けて行うことで、トラブルの少ない手指に近づけます♪



講座のご案内

無料託児付(6カ月～就学前児童・予約制)

無料 参加費無料

ソーレまつり 2019

入場
無料

ソーレから「ダイバーシティ」発信！ ～ひとりひとりの違いを活かす未来へ～

今年はソーレ開館20周年です。ソーレの活動団体によるバザーやステージ、体験教室など盛りだくさんの楽しいイベントを開催します。みなさまのご来場をお待ちしています。

日時 平成31年1月26日(土)・27日(日) 9:30～16:00

場所 こうち男女共同参画センター「ソーレ」

記念講演会

「ちがい」を持つ人々との 豊かな出会いに向けて

無料

日時 平成31年1月27日(日) 13:30～15:00

講師 ロバート キャンベル
(東京大学名誉教授・日本文学研究者)

会場 3F大会議室

定員 250名(先着順・予約優先)

申込 電話またはHP申込フォームにて受付。



犯罪被害者支援講演会

「13歳、『私』をなくした私 ～性暴力と生きることのリアル～」

無料

性暴力被害にあった人は、暴力と社会の無理解の両方に傷つけられるといわれます。日常的に起こる痴漢やセクハラなどは性暴力です。これは決して特殊なことではありません。性暴力に対する正しい理解を深め、私たちができる支援を考えるために是非ご参加ください。

日時 平成31年2月3日(日) 13:30～15:30(開場13:00)

講師 山本 潤(一社)Spring代表理事
SANE(性暴力被害者支援看護師)

会場 高知会館(高知市本町5-6-42)

定員 120名(予約優先)

申込 電話またはHP申込フォームにて

共催 NPO法人こうち被害者支援センター

映画「未来を花束にして」 国際女性デー上映会 in ソーレ&香南市

無料

100年前、世界中のほとんどの国で女性には参政権がありませんでした。女性に投票権もなく親権もなかった時代に、生き方を変えようと立ち上がった女性たちの物語です。



©Pathe Productions Limited, Channel Four Television Corporation and The British Film Institute 2015. All rights reserved.

日程 平成31年3月8日(金)(2会場同日開催)

会場1 こうち男女共同参画センター「ソーレ」

時間 10:00～12:00(開場9:30)

定員 80名(予約優先)

申込 2月1日(金)9時～電話またはHP申込フォームにて

会場2 のいちふれあいセンター(香南市野市町西野534-1)

時間 18:30～21:00(開場18:00)

定員 100名(予約優先)

申込 2月1日(金)9時～電話またはメールにて香南市役所人権課へ
電話 0887-57-8507

メールアドレス jinken@city.kochi-konan.lg.jp

共催 香南市 人権課

託児 両会場とも、申込締切日:3月6日(水)定員あり・先着順

●詳しくは、ソーレホームページをご覧ください。

●お申し込み・お問い合わせはお電話でソーレまで
TEL(088)873-9100

ソーレ・メールマガジン
「FROMソーレ」

購読無料!



◀こちらのQRコードから登録画面に直接アクセスして登録後、確認メールが届きます。URLにアクセスして登録をしてください。

施設利用のご案内

- 貸室利用時間
9:00～21:00(土・日・月曜日9:00～17:00)
- 休館日
第2水曜日・祝日・(年末年始)12月29日～1月3日
- 図書・情報資料室
9:00～20:00(土・日・月曜日9:00～17:00)
※ただし図書利用カード発行及び再発行の受付は、17:00まで
- 相談室
9:00～12:00、13:00～17:00
(専用電話/088-873-9555)
※第2水曜日、祝日、12月29日～1月3日は休室です

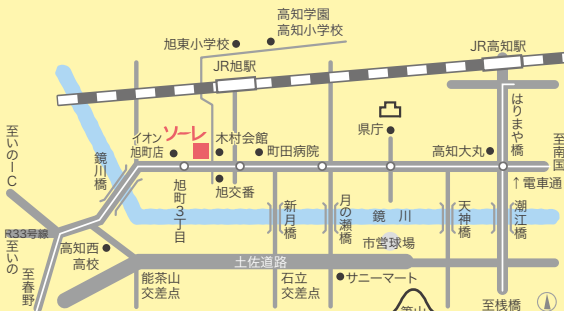


あなたの声をお聞かせください

紙面へのご感想、また主催事業や施設利用等に関する、あなたの声をお待ちしています。

- 電話 088-873-9100
- Fax 088-873-9292
- Eメール sole@sole-kochi.or.jp
- HP <http://www.sole-kochi.or.jp>
- Facebook こうち男女共同参画センター「ソーレ」

発行 公益財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団 発行日 平成31年1月10日



- 所在地
〒780-0935 高知市旭町3丁目115番地
- アクセス
電車…「旭町3丁目」下車100m
バス…「旭町3丁目」下車50～200m
JR…「旭駅」下車400m

駐車スペースが少ないため公共交通機関をご利用のうえ、ご来館ください。